

楽しく学ぶ☆世界のあれこれ

【ねらい】岡山市では外国につながる住民が増え、地域や職場、学校などでも多様な文化にふれる場面が広がっている。文化や価値観の違いを知り、互いを理解しようとする姿勢は、安心して暮らせる地域づくりに欠かせない。この講座では、世界の文化や考え方に楽しく触れながら、多様性を尊重する心を育み、誰もが暮らしやすい地域づくりにつなげることを目指し、「まずは知ることから始めよう」ということを目的にしている。

★7月開催

「作って食べよう♪ネパール料理で晩ごはん」



カレーを作るだけでなく、世界で唯一四角形ではないネパール国旗を見せて説明をしたり、カレーに使用するスパイスの紹介をしたり、日本とは違う食事のマナーについての話もありました。親子での参加が多く、「え～、そんなに食べるんだ。違うね」「スパイス変わった匂い～」「日本とはいろいろ違うね」と親子での会話も弾みました。

★10月開催

「仮装して遊ぼう★公民館でハロウィンナイト」



ベストコスチューム賞も決まりました！
子どもたちは審査員の大学生に「ここが気に入ってる」「頑張ってたのはここ！」としっかりアピール。

お互いの仮装に「かわいい～」「それどうやってるの？」と話も弾みました。
大学生ボランティアも仮装して参加。ハロウィンの成り立ちを大学生が子どもたちに語った後、講師によるハロウィンのお話（英語日本語療法での読み聞かせ）、ゲームをして楽しく遊びました。

公民館から始まる、世界とのつながり。

山南公民館 さんなんきっずくら部

【前回の様子から】

「お手伝い」になっていた、小学生対象の講座を自分たちで企画して行った。昨年度は開催後に高齢者との関係性についても考えたが、発展できなかった。しかし、人数が少なかったために校内放送で呼びかけ、その成果か今年は3倍もの参加者があった。「夏休みきっずくらぶ」いう小学生対象の講座を今年も企画することで、地域について考えるきっかけづくりとし、継続的に公民館を通して地域に関わることへの気づきを得る。

はじめましての会！なんと昨年の3倍の参加者が集まりました★

何を小学生に楽しんでもらおうか？

試作もがんばりました！

本番までに7回集まって打合せをしました♪



本番当日！

はじまるよ～♪

ゼリー・クッキー作り



令和7年度 山南公民館 主催講座
(きっずくら部企画)

夏を満喫しよう

8/21(木) 15:00～17:00

内容

- ゼリー作り
- クッキー作り
- 風鈴作り

・場所：山南公民館

・材料費：300円

・持ち物：エプロン、バスタブ、マスク、ふきん、飲み物

・参加申し込みが必要です(電話不可)

・申し込み期間 7月19日(土)～8月5日(火)

・問い合わせ 申し込み：岡山市立山南公民館

・TEL/FAX：946-8165

・定員1～6年生16名(先着順)

※参加費は、この事業のみに使われます。
※参加者の様子は写真撮影し、岡山市立山南公民館で公開しますので、ご了承ください。

★チラシもメンバーで
作りました★

なんと準備は前日から！当日も午前中から開始時刻の15時まで準備をみんなで頑張りました。考えて準備をしていたつもりだったのに、始まったらゼリーづくりで時間が足りず中高生が作業をして間に合わせるというアクシデントも！！でも小学生からは、「どれも楽しかった！」「(中高生と)一緒に料理ができた！」との声が多数で、反省点はあるけれどよい講座となりました。

風鈴作り



【講座を終えて】

昨年の3人から11人に増えて、企画から運営まで中高生で行いました。昨年のメンバーにやり方を聞きながら、よりよい講座になるようにみんなで考えている姿が印象的でした。「小学生やメンバーとのつながりが深まった」「小さい子との関わり方について学んだ」「仲間と協力して企画を成功させることの大切さを感じた」の感想があり、はじめましての会から成長した姿を見ることができました。「来年もまた参加したい」との声があがっているので、昨年・今年の反省点を生かしてまた地域のために行動してくれると感じています。

くるまの博士ちゃんになろう！

実現させたい地域の夢：様々な団体や企業が協働し、子どもたちを見守り育てることができる地域

夏休み期間中、子どもたちがゲームをしたり、スマホで動画視聴、SNS をしたりして過ごす時間が増え、人と関わる時間が少なくなるのではないかな。

→ 地域貢献活動に意欲的な地元企業とコラボし、生活の中で身近な「自動車」を通して、科学の楽しさに気づく機会とする。

◆協力企業◆

岡山トヨタ自動車株式会社岡南店



自動車の動く仕組みを知ろう！

博士のコスチュームに身を包んだエンジニアさんから、車が動く仕組みについて説明してもらったよ。

紙コップロケットを飛ばそう！

車が動く仕組みを利用して、紙コップロケット実験をしたよ。4.2m 飛んだロケットが一等賞！



ミニソーラーカーを作って屋上で走らせたよ！

参加者の声

【小学生】

◎実際に作ったり、仕組みを学んだりできて楽しかった。
◎紙コップロケットを作る時、軽くしたら飛ぶのか、飛ばないのか考えたのでしっかり頭がまわり勉強になりました。

【企業】

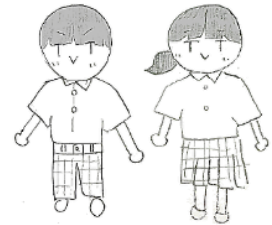
◎地域の子どもたちと触れ合う機会は初めてで、どう話せば伝わるか、考え工夫する時間がとても新鮮だった。



中・高校生対象

岡山市立富山公民館

TVT(富山ボランティアチーム)



中学生が作成した
イメージキャラクター
トミヤマル & トミヤマルコ

今年4月から本格的に活動が始まりました。毎月第1日曜日・午前(10:00~12:00)、第3日曜日・午後(13:30~15:30)に活動しています。(※祝日はお休み。登録制ボランティアのため、毎回参加できなくてもOK。サポートする大人のボランティアの方々もおられます。)

地域活動や公民館の主催事業に参加・参画し、地域を元気にするにはどのようにすればよいか考え、地域住民との世代を超えたコミュニケーションをとりながら、活動しています。

6月:倉安川の清掃



倉安川に捨てられた 27.8 kgの
ごみを収集。分別して記録中。

7月:三世代七夕コンサートの壁面の
飾り作り、盛り上げも担当



当日は大盛り上がり!

7月:倉安川の生き物調査



調査を通じて倉安川の
豊かさに気づきました

10月:富山文化まつりの出展



ハロウィンの
フотスポットを
運営



宝探しや工作、
あそびができる
スペースも!

11月:富山学区避難訓練で防災○×クイズを担当



多くの方にご参加いただきました。

参加している中学生、高校生からは「活動が楽しい。」「もっとボランティアとして、地域貢献したい。」との声。地域の方からは、「高齢化が進む中、地域活動にボランティアとして中学生、高校生が参加してくれてありがたい。若い人の頼もしさを感じる。活動を通じて富山の良さを若い人にも知ってほしい。」との声をいただいています。まだ活動が始まったばかりで、試行錯誤しているところですが、今後も、中学生、高校生の意見を大切にしながら、活動していきたいと考えています。

働 く 世 代 応 援

夏野菜使い切り講座

◆ねらい（解決したい地域課題）

野菜の使える部分を食べられないと思い捨ててしまったり、使いきれず腐らせてしまったりすることが食品ロスの一因となっている。また、近年野菜も含め物価高騰が続いており、家計が圧迫されていると感じている人も少なくない。

食材を無駄にしない調理方法を知ることにより、節約の方法を学ぶとともに、食品ロスを減らす意識を高める。普段、公民館に来られることが少ない世代を対象にすることで、ごみ減量の裾野を広げるとともに、公民館の活用方法を知ってもらう。



野菜ソムリエの方を講師に、野菜の新鮮な保存方法やトウモロコシの芯・ひげ、じゃがいもの皮なども活用したレシピを教わりました



20～60 歳代の方が参加。初めて顔を合わせる方がほとんどですが、調理をとおして自然と会話も弾みます

◆効果

参加者からは「野菜を使うハードルがグンと下がりました」「食材の使い方、参考になりました」など普段捨ててしまうような食材の部分を活用できることに驚いたり、「楽しく美味しく、またお料理教室来たいです」と次回を期待する声も多くありました。

公民館に来られることが少ない世代を対象にしたことで、初めて公民館を利用されたり、「ごみ減量・リサイクル推進週間」をこの機に知った方も複数人おり、ごみ減量推進の裾野を広めることができました。

川ガキ 2025「手作りいかだと魚とり」<全4回>

岡山市立
高島公民館

ふるさとの川を大切にし、水辺の遊びを楽しむ子どもや大人をこの講座では「川ガキ」と呼んでいます。

ふるさとの豊かな自然を次世代のこどもたちに受け継ぐため、参加してくれる保護者の皆さんとこどもたちが準備から携われるように、いかだを題材にしてプログラムを組みました。

1



【魚とり】ふるさとの水辺・魚の学習と魚とり。

【保護者】

こどもと一緒に、竹のいかだを作るなんて、貴重な経験！
竹に触れるのも初めて！

【川ガキのこどもたち】

楽しい！おもしろい！いかだになるのが楽しみ！

2



【いかだ作り準備】

地元の竹林から竹を切り出し、サイズ調整。公民館利用者の皆さんが協力して集めたペットボトルで浮き作りなど、皆でがんばりました！



3



【いかだ作りといかだ遊び】いかだを作って川で遊ぼう！
作って浮かべて乗って遊ぶ！川遊びの醍醐味



【推し・魚・魚!!】みんなで歌を作って推し魚のことを伝えよう！

4

「私の好きな魚」の推しポイントを書き出し、歌詞にして、みんなで歌いました。後日、YouTube に UP 予定！高島・旭流の水辺の豊かさをみんなに発信します。

アンケートの声

- いかだを浮かばせるところがすごくおもしろかった。《参加児童》
- 外で遊ぶ機会が減っているので良い経験になった。《保護者》
- 準備から手伝ったことで、よい経験になった。普段の生活ではできないことができて良かった。《保護者》
- 参加者全員で楽しい時間を共有できた。良い経験になったし、自信がついた。《大学生》

◆効果◆ → → → 参加者の繋がりができた → → → 新たな担い手作りに発展

春の環境てんけん

継続 23 年

- ◆ねらい
- *地域の現状監視
 - *希少生物の保護
 - *プラスチック削減に向けて暮らしの見直し
 - *異世代間交流

・植生
・大気
・水質

◆活動の成果

2003年に岡山市京山地区 ESD・SDGs 推進協議会と一緒に始めたこの活動が契機となり、水路沿いが住民の憩いの場「**緑と水の道**」として整備されました。
また、希少淡水魚の生息が確認されたこともあり、**地域全体で野生生物の生息を保全する活動に発展**しています。



整備前



整備後



自分たちの目で見て、手で触って、頭で考えて、生態系について「てんけん」しながら、総勢 103 人が学びました。

安全面や採集のサポートでは、中学・高校・大学生のボランティアが交通の誘導や、川にも一緒に入ってくれて大活躍です！

「先生！これはなんていうお魚？」質問が飛び交い、先生のお話にみんな興味津々です。



私たちのまちの水路に、ホタルを復活させたい！

川ごみを回収し、プラスチックごみの量や種類を調べました。

まとめ・ふりかえり

分別したゴミを確認し重さを量りました。
先生から川ごみの現状を聞き、自分たちの課題、自分たちにできることを考えました。



みんなでゴミを分別調査

◆参加者の声 ～京山公民館のある京山中学校区は、市内中心部に位置する学区です～

「身近な川や公園でこんなに豊かな自然があると思わなかった。」「自分の住んでいる地域について何も知らなかったのでボランティアで参加した。どんな生き物がいるかや、その特徴を知る事ができた。」「高校生の自分よりも小学生の方が詳しくて、色々教えてくれて嬉しかった。」「外来種が増え、生態系が崩れつつある今、在来種が身近にいることを知って安心した。」「SDGs や地域課題を楽しく学べる活動をしてみたい。」「今回のような行事に参加することで人とのつながりを感じることができ、環境について考えるよいきっかけとなった。」

春の環境てんけん 2025 年 5 月 31 日実施（参加者数：103 人 ※ボランティア含む）秋は、10 月 25 日に実施

と～すいゃええ・防災！

◆ねらい（解決したい地域課題）

南海トラフ地震が今後 30 年以内に高い確率で発生と言われていている。光南台地区は児島湾の南側に位置し、津波・液状化の被害も予想される。この地区で防災に取り組んでいる組織や住民の交流を深めることで、災害に対する備え（防災マップや相互連携ほか）について学び、自助・共助の意識を高めることをねらっている。

◆活動の様子

第 1・2回防災マップ作りについて学ぼう



みんなで真剣に
防災マップの作り方を
学びました

6 班に分かれて街歩
きをして危険個所を
確認しました



第 3 回 災害に備える「災害脳」を活性化 第 4 回 南海トラフ地震について学びましょう



講話とワークショップによる学びで
地域の方々と討議をしました



◆効果（参加者の声等）

第 1・2 回の防災マップ作りでは防災マップの必要性が理解でき、実際に地域を歩いて危険個所を確認するポイントを学ぶことができました。

第 3 回では災害に対して他人ごとだったが様々な学びを通して、地域の方々と話し合うことで自分事と捉えて、今できることを見つめ直し、さらに住んでいる地域のみんなにどのように伝えていくかという課題も浮かび上がってきました。

みなんにし レクリエーションクラブ 2025

今年で7年目となる「**みなんにし レクリエーションクラブ**」では、御南中学校の生徒が幼児や小学生の遊びをリードするお楽しみ会をベターライフ御南さんと一緒に行っています。

◆ねらい

- ① 若者が地域や公民館で地域のために主体的に考え実践する力を付ける。
- ② 単発のボランティア活動から、さらに一歩前進した、若者の継続的な地域活動の場と機会を創り出す。
- ③ 若者が地域の子どもから大人までの人たちとの温かなふれあいを通してコミュニケーション力をアップさせる。



第1回 10月18日(土) 9時00分～12時30分頃 ベターライフ御南 「秋の遊ぼう会」

室内遊び・外遊びなど、小学生が楽しめる集団遊びを考えて一緒に行いました。



みんなでいっしょにボールあそび



トランプも楽しみました。

※第2回は12月22日(日)に「冬のおそぼう会」を予定しています。

◆効果(中学生の感想等)

- ・小学生以下の子どもたちと交流することはあまりないので、トランプなどをしてあそぶのがとても楽しかったです。これからはもっと子どもとの交流を大切にしていきたいです。(3年生)
- ・子どもと遊ぶことってこんなに楽しいんだと気づかされました。小学生の好みもさまざまで、「何をして遊ぶ?」と聞いてみんなも楽しんでいてくれてとても嬉しかったです。(1年生)

この活動をとおして、中学生が幼児・小学生と交流することで、異年齢の交流の楽しさを経験できました。こうした活動をきっかけに、地域の様々な年代の方と交流したり、主体的に活動したりしていけることを目指していきたいと思います。

28年間の感謝をこめて

旭公民館 サンクスフェア

令和8年3月に、旭公民館は岡山中央中学校の敷地内に新築移転します。利用者の中には開館当初から利用している方々もおられ、様々な思い出があり、公民館に愛着を感じて閉館を惜しむ声を多く聞いています。そこで、これまでの事業を振り返ったり、記念行事を実施したりして、地域の方々や関係者とアイデアを出し合って思い出深い公民館事業を目指しています。

一連の行事を企画から関わる企画委員を募集。
企画会での意見をもとに取組を進めています。

事業の案内には
このマークを付けています！



サンクスフェアの一つの事業「ありがとう公民館思い出の数々」受講生が（株）ベネッセコーポレーションの14階から学区を見下ろした後、職員を残して旭公民館に移動。「旭実用書道講座」受講生が毛筆した垂れ幕を掲げた様子を、職員が屋上テラスから記念撮影。

旭スケッチクラブ「旭公民館展」



5月から翌年2月まで
全部で21事業を計画。

旭公民館
サンクスフェア

サンクスフェア 年間予定表

全部で 21 事業を計画。

令和7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年1月	2月
	第1期		第2期		第3期		第4期			
					旭公民館だより 展					
					旭公民館 花ごまき					
	初崎利子さん 「断乎で作った十二支」 展				井上和子さん 「断絶と人形」 展			初崎利子さん 「断乎で作った十二支」 展		
	前田美江さん 「四季の切り絵」 展							前田美江さん 「四季の切り絵」 展		
					旭スケッチクラブ 「旭公民館」 展			新館建築現場写真展		
								サンクスフェア写真展		
15日(火)	20日(火)	17日(火)	15日(火)	19日(火)	第3期13~15時	21日(火)	25日(火)	16日(火)	20日(火)	
		5日(木)			ありがとう公民館利用の数々	25日(木)	旭公民館文化展 22日(土) 23日(日) 午前・午後	旭やうふう大学 展覧会 11日(土) 休館決定	おられ コンサート アリア・和歌山 17日(土) 13~16時	旭公民館の 思い出を語る会 1日(日) 13~16時
	「浜・東方い ま・七夕」の 思い出を語る会 22日(木) 15~12時		旭やびっこ プレイパーク 5日(土) 13時30分~15時30分	旭キッズ カーニバル 9日(土) 午前・午後	やびっこ お楽しみば 20日(土) 14時~15時	浜島・東方健康 ウォーキング 大会 25日(土) 旭公民館(旭公民館・大) 9時30分~12時30分	事業部コンサート 「平日和」 (午後4時開始) 30日(日) 13時30分~15時	城下ガーデン グループ展 20日(土) 10時~12時		
								ボクア・サン ブルコンサート 演奏・コンサート グループ・ラッ 13日(土) 13時30分~15時30分		

岡山市立東山公民館 東山 ESD クラブ キャンドル★ナイト

★「キャンドル★ナイト」について

「東山 ESD クラブ」の一コマで、毎年夏至に近い6月の土曜日夕方に開催しています。環境についての話やリサイクルキャンドルづくり、小学生店長による子どもフリーマーケット、学・青ボラや地域団体が準備した割りばし鉄砲づくりやまとあてなど様々な遊びのコーナー、吹奏楽のクラブ講座による野外コンサート、ラストを飾る大抽選会など、小さな子どもから高齢の方までが楽しめるミニ夏祭りのようなイベントです。庭に並べたキャンドルの灯を親子や友達同士で眺めながら、環境について考える機会の一つとなっています。



チケット販売所は開始前から長蛇の列



地域のおっちゃんたちに教わって、めざせまとあて名人！



お菓子釣り・楽しく遊んでおいしく食べよう！



夏の夕べを彩る吹奏楽の野外コンサート

中高生～大人スタッフがどう企画会



何度も集まって担当コーナーの準備



開始直前！最終のスタッフミーティング



小学生店長さんたちが大活躍の子どもフリーマーケット

★「東山 ESD クラブ」とは「食べて・笑って・おしゃべりしよう (eat・smile・discussion)」をキーワードに、大人の ESD メンバーや学生・青少年ボランティア(学・青ボラ)とともに、年8回程度企画開催しています。

親子や多世代がどう学びの機会となるよう平和・人権・環境・健康・福祉・共生など SDG's の 17 の各目標をテーマとした講座や、日帰りエコキャンプなどのイベントを実施しています。



展示パネルで学習中！



ヨーヨー釣り



割りばし鉄砲づくり



つくって遊ぼうコーナーではミャクミャクのお面づくりも！



ラストを飾る大抽選会

☆東山公民館では「学生・青少年ボランティア(年間登録制)」が事業の企画に参画したり、当日の運営を一緒に行ったりしています。「世代がつながり、世界とつながって、生きる力を養い合う地域」をめざして、これからも幅広い世代のみなさんと一緒に、様々な取り組みを進めていきます。

みんなで支えあう地域防災 避難所を開設する訓練

◆ねらい

住民の多くが「指定避難所に逃げるのがゴールで避難所運営は市の担当者がするもの」と認識していることが、これまでの取り組みで明らかになった。いろんな立場の人と力を合わせて「逃げ先」をイメージし、特に要配慮者の目線で避難所開設の演習を行う。

主催/ 岡山市立岡輝公民館、岡輝ケアカフェ

協力団体/ 岡町自主防災組織、岡山市消防団岡南分団・清輝分団、岡南小学校 PTA、岡輝中学校 PTA、災害支援ネットワークおかやま、岡山赤十字病院、岡輝みんな食堂

◆活動の様子



当日の内容

○グループに分かれて HUG

○ワールドカフェで『役割・ルール』『受付』『スペース分け』について意見出し

○昼食は非常食ドライカレーの試食

○備蓄資材と持ち寄った資材で下記の 5 つを設営

- ① 受付の設置
- ② 一般の居住空間
- ③ 要配慮者の居住空間
- ④ トイレへの動線と設置工夫
- ⑤ プライバシー空間



◆参加者の感想

- ・自分が避難する岡輝中学校の体育館で行ったので、避難初動のイメージができた。
- ・親とはぐれて子どもだけで避難所に行くこともあると思い家族で参加した。
- ・家族で避難について日頃から話をしているが、いろんな団体から情報を得ることができ参加してよかった。
- ・避難の初動は混乱することが実感できた。経験を積み上げて、落ち着いて行動できるようになりたい。

◆効果

これまで 3 回に分けて実施してきた内容を一日に凝縮して行ったので、HUG やワールドカフェで話し合った内容が設営の演習にすぐに活かされていた。

岡山市立御津公民館

日本語教室

◆ねらい

御津地区には企業団地があり、毎年多くの技能実習生が入ってくる。

彼らの多くは日本語ができない状態で来日するため、御津公民館では習熟度別に4つの日本語教室を開き、彼らの日本での生活をサポートしている。



習熟度別に4つの日本語教室



日本文化に触れる「多文化カフェ」

◆効果

日本語の習得は日本での生活の第一歩となる。御津公民館では日本語教室の他に「多文化カフェ」という講座の開催や、公民館祭りで自国料理を販売する店の出店を通じて、日本文化の理解や地元の方々との交流ができる場を提供している。

今日から始めるエコ宣言！ ～食品ロス削減を考える～

<ねらい>

○身近な環境の現状を知り、様々な分野から正しい知識を学び、環境意識の向上を図るとともに、同じ思いを持った参加者同士の親睦を図ることを目的に活動している「今日から始めるエコ宣言！」、令和7年度は「食品ロス削減」をテーマに活動した。

日本の食文化から食品ロス削減を考える

公民館で充実した環境教育を実施し、住民に関心を持ってもらい、主体性をもって課題解決に向かって取り組む体制を支援して4年目。参加した住民と共に年度ごとにテーマを定めて、多くの人に環境について関心を持ってもらえる活動をしている。令和7年度は「食品ロス削減」をテーマに、日本の食文化の中で「保存」することで食品ロス削減が行われていることに焦点を当て、「乾物」「冷凍」などを行うことで無駄なく食品を利用するすべを学んだ。



初回は、環境にやさしい暮らしをテーマに、「エシカル消費」について学びました

「未来の幸せのためにできること、ちょっと エコこと」＝
「エシカル消費」 エシカル消費で地域社会を元気にしましょう

改めてエコについて考えさせられました一人一人の自覚が大切ですね（参加者より）

冷凍保存も無駄なく食品を利用する方法です。大根を冷凍すると味がよくしみますよ。



家にある食材を無駄にせず、様々な調理方法でおいしく仕上げることができました。我が家でも挑戦したい。（参加者より）

持ち寄り食材を使ってその場でメニューを考えて13品出来上がり！

冷凍保存の食材を利用して作りました！



様々な乾物を利用して調理される「ちらし寿司」は日本食の代表！美味しくいただきました。

食品ロス削減で、未来を幸せにできる！日本の食文化には「ものを大切に
する心」があふれていることを忘れずに日々の暮らしを考えよう！

高齢者のための スマホ教室

ねらい

スマホを所持しているが、使い方を教えてくれる人が身近にいない高齢者に対して、基本操作やアプリケーションの使い方を学んでいただき、便利なコミュニケーションツールとして活用できる能力を身に付ける。

活動の様子



前半は講義を聴いてから実際に操作します

スマホアドバイザーの方を講師に迎え、前半はテーマ毎の講義とスマホを使って実習を行っています。

後半に個人的な質問や相談にのってもらいます。

〈テーマ例〉

スマホ体験(地図アプリ、カメラ、文字入力)

LINE 教室、セキュリティ 等



熱心に受講している高齢者の方々



後半はスマホアドバイザーに質問タイム

参加者の声

- ・ご指導は何も困ることはなく大変良かったです、自分が言われた通りに操作できなかったのが大変口惜しかったです。
- ・高齢者向きでよかった。説明もわかりやすく。
- ・インカメラの起動に感動しました。次回が楽しみです。
- ・LINE はしていたし写真も送信していたけど、やはり知らないこともあり来て良かったです。
- ・google レンズの機能にびっくりしました。今後大いに活用したいと思います。

岡山市立瀬戸公民館

文化芸術による社会教育・地域参画コンサート事業 (プロアーティストとの共演ワークショップ&公民館連携コンサート)

◆ 1. ねらい (解決した地域課題)

地域では、世代間交流の機会が少なく、質の高い文化体験に触れられる場も限られていました。また、地域だけでは本格的な芸術体験を十分に提供することが難しい状況がありました。そこで瀬戸公民館は、人気ピアノ YouTuber(登録者30万人)・みやけん氏、岡山県出身のポピュラー・マリンプレイヤー・馬場桜佑氏と、地域団体、市民、学生ボランティア、他館と協力しながら、瀬戸公民館の職員がコーディネーターとして中心に立ち、音楽を通じて学びと交流の場を地域全体につくることを目的に事業を実施しました。

◆ 2. 内容 (社会教育としての構造)

① 公民館を中心とした協働体制

プロアーティスト、子ども、市民、地域団体、実行委員会、学生ボランティア、瀬戸公民館・旭東公民館が協力。公民館が全体の企画・調整・運営を担い、多様な主体をつなぎながら目的を共有し、地域の学びの場を創出。

② プロアーティストへの社会教育への理解

みやけん氏、馬場桜佑氏の両名に対し、事前に公民館の社会教育の目的や地域の課題を丁寧に説明。単なる演奏ではなく、「子どもや参加者の学びを引き出す役割」を共有し、人気アーティスト自身が地域の学びに関わる姿勢で取り組んでいただきました。これは非常に希少な事例です。

③ 2年間の連続実施(延べ約 700 名が参加)

■令和6年度：人気ピアノ YouTuber みやけん氏

・子どもから高齢者がプロ音楽家と共演できるワークショップ・特別コンサート

■令和7年度：ポピュラー・マリン奏者 馬場桜佑×ピアノ YouTuber みやけん

・岡山市立公民館連携コンサート(瀬戸公民館・旭東公民館)

・プロアーティストと地元キッズダンスチームとのステージ共演

共演ワークショップや連携コンサートは全国の公民館でも例が少なく、今後の参考モデルになり得る。



◆ 3. 効果 (参加者の声等)

単なるコンサートではなく、公民館が「学びの場」として組み立てたものです。アーティストには事前に社会教育の目的と地域状況を共有し、「音で体験や学びを生み出す」体験的プログラムを実施しました。その結果、感性・表現力・協調性・創造性・多世代の交流など、多面的な学びとつながりが生まれました。

■ 参加者の声(抜粋) ※アンケート回収数 約 500 人 満足度 9 割以上

「音楽に触れるだけでなく、関わり方を考えるきっかけになった」 「演奏と解説で理解が深まった」
「親子で同じ時間を共有できて良かった」 「地域でこうした体験が続いてほしい」



◆ 4. 成果と課題・今後の見通し

- [成果] ● 公民館が地域の学びの中心として機能 ● 世代を超えた体験と交流が広がった
● プロアーティストとの協働モデルが確立 ● 瀬戸・旭東館の連携で地域全体の体験の幅を拡大
- [課題] ● 多主体協働の運営負担が大きい ● 子どもの継続的な文化体験の仕組み化 ● 他館との広域連携の体系化

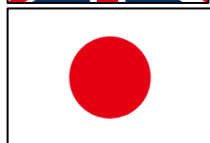
[今後の見通し] ● アーティストや地域文化人材との協働 ● 年間を通した子どもの体験プログラム ● 多館連携の仕組みの強化
これらを進め、公民館を地域の社会教育の核としてさらに発展を目指したいです。

岡山市立万富公民館

岡山市日本語教室（万富）

◆ねらい（解決したい地域課題） 農村地帯である万富公民館のエリアにも、意外に多くの外国人の住民が住んでいて、地元の青空市などで接触の機会があります。市の国際課と共催し、日本語を学ぶことを通じて外国人住民が困難を抱えることなく生活でき、日本人住民と交流を図りながら、互いが現在よりも心豊かに暮らせるような地域を目指しています。

活動の様子



去年9月から現在まで、日本も含め、8つの国のみなさんが、参加してくれました。



教室形式だけでなく、下にあるような借り物ゲームなど、体を動かしたりしながらの学習もしています。



◆効果

教室での学習を通じて、国際交流に関心のある地域の日本人や、日本語教室へのボランティアとの交流ができました。中学生のボランティアも継続的に参加してくれるようになっており、今後も、日本語能力の向上を通じての外国人の困り感の解消だけでなく、交流を通じて、公民館が日本人、外国人分け隔てのない居場所づくりにつながっていけばと考えています。

ごみ処理施設で学ぼう ～たしかめよう！ごみのその後～

ねらい

家庭から出る「ごみ」。この中には、資源として再利用できるペットボトルなどが、「燃やせるごみ」として焼却されています。ごみが収集され、処理する様子を実際の処理施設を見学することで、分別の大切さと理解を深めることを目的として、毎年小学4～6年生と保護者を対象に実施しています。

倉敷西部クリーンセンター

令和7年度
稼働！

リデュース・リユース・リサイクル(3R)
海ごみ問題について学びました

リチウムイオン電池は
そのまま捨てると危険！

プラットホームやごみ
ピットを見学しました

・ごみの焼却から選別まで
・燃やしたときに出る熱で発電
・灰の再利用 など
施設の仕組みを映像で学びました

倉敷市内の再生資源化業者

鉄板の上にトラックが乗って
荷物の重さを量ります

製紙会社で再生紙に
生まれ変わるために
紙類をプレスします

重機の先にある強力な磁石
で金属をプレス機へ運び、
実際にプレスされる様子
を見学しました

個人の資源ごみも
受け入れています

受講者の感想
(効果)

子ども

- ・いろいろゴミについて分かったし、ゴミの出し方も分かった。
- ・ゴミを減らして、処理場で働く人達の負たんを減らそうと思った。
- ・4年の社会で習ったことはあるが、実際に見てみると、こまかい場所まで知ることができたのでよかったです。

保護者

- ・親子で参加できたことがよかったです。動画など視覚的に分かりやすい説明がよかったです。
- ・家庭ごみのその後の行方が子どもたちも実際に見ることができて理解が深まったと思う。
- ・子どもが授業でならった内容についてくわしく知ることができたと思う。ゴミ出しの手伝いもするようになったので分別などにも気を付けて今回の講座を生活に活かしていけると良いと思った。

終活ノートの書き方講座

～子どもに迷惑をかけないために～

どうする？
実家じまい

【春講座】4/16(水)・4/30(水)・5/14(水)14:00～15:30<全3回>

【秋講座】9/10(水)・9/17(水)・9/24(水)14:00～15:30<全3回>

一般対象 総受講者数:71名 講師:内川 良太郎(上級相談診断士)

ね
ら
い

人口減少や高齢化している地域が増加傾向にあり、それに伴い、所有者がわからない空き地が増加したり倒壊の危険のある家屋が増えたりして、地域の暮らしにも悪影響がおよんでいる。また、親族が亡くなって相続した不動産について相続登記がされないケースが多く、問題となっている。令和6年4月に相続登記が義務化されたことを機に、終活を通して、空き家・空き地問題に向き合ってもらい、解決の糸口にしたい。さらに、終活講座は需要が高く、公民館に限らず様々なところで学ぶ機会は多くなっている一方、学んだことを実践している人がまだまだ少ないので、この講座をきっかけに実践する人(終活ノートを書いて残す人)を増やしていきたい。

1

講話

何から書き始めればいいのか?「終活ノート」を書くための基礎知識を学ぼう!

「終活ノート＝円満相続」をテーマに、終活ノートを書く必要性を分かりやすくお話しいただきました。

【終活ノート】 わたし自身・財産について、自分の現在地を知る

【相続】 いざという時のために「知って安心」

【遺言】 相続?争族?トラブル防止のために



2

実践・終活ノートを書く

実際に書いてみよう!～書く目的・内容のポイント～

エンディングノート(終活ノート)を書く目的として、「自分が相続する財産の現在地を知るため」「家族が困らないようにするため」といったお話の中で、「どこにどんな財産があるか」「認知症などになった時の相続について」など、詳しく説明いただきました。特に、認知症などになると、持ち家が売れない、預金を引き出せないなどの問題で、円滑な相続ができなくなるので、そのためにも、今から終活ノートを書いておくことが重要とのことでした。また、後見人や家族信託の手続きを進めておくことの必要性についても学びました。講座終了後には、教材として使用した、建築指導課が無料配布しているエンディングノートも好評で、ご家族やお友達にもすすめたいと、何冊も持ち帰る姿がみられました。



講
座
を
実
施
し
て

受講生からは、「とても役に立った。今までも聞いたことはあったが実行できていなかったので、1つ1つ今から計画していきたい。」「今回の講座は、いろいろ解決できるきっかけになったと思う。」「実家が将来、空き家問題が出てくると思うので、家族で事前に話し合っておこうと思います。」「まだまだ終活は先の事と思っていたが、皆さんのやる気と講師の先生の私たちに寄り添った説明を聞き、一歩、行動を起こそうと思いました。」との感想が上がった。感想からも分かるように、受講生が関心を持って取り組み、終活ノートを書くことを通して理解を深めることができた様子であった。

今回の講師は、倉敷市建築指導課と連携した空き家対策の市民提案事業協力団体で活動しており、地域住民を対象とした相続や空き家に関する講座を開催していたが、実践していく具体的な内容の講座はなかった。今回の講座を新たな企画として持ち帰ってもらい、さらに地域に広めてもらうことを期待している。また、玉島公民館では、今後も地域団体や専門家、行政が連携した講座を継続して企画し、地域全体の学びや地域課題解決の支援をしていきたい。

【高校生が案内する玉島の町とソウルフード】

【ねらい】

岡山県立玉島高校の生徒が、玉島の伝統ある古い町並みと玉島に息づくソウルフードについて調べ、案内することにより、高校生そして講座生の皆さんに、玉島の魅力について知ってもらい、玉島の地域の活性化そして発展につなげたい。また、地域の良さを認識した高校生が、地域の将来を担う人材に、成長してほしいと考えている。

【活動の様子】



ソウルフードのお店のご主人に、玉島の活性化に向けた取組についてのお話をいただきました。

商家の蔵を改造して、玉島の歴史を伝える活動をしている方に話を伺いました。高校生も刺激を受けていました。



マンツーマンで玉島の案内をしながら、講座生と高校生が楽しそうに話をしている、微笑ましい様子が見られました。

【参加者の声】

・高校生と一緒に歩くだけでも楽しい。下見をし、準備をしてくださり、ありがとうございました。玉島は好きな町ですが、通ったことのないところなど、新鮮でした。

【高校生の声】

・講座生の方に説明できるようパンフレットも作ったものの、やはりしゃべるときには詰まったり、分からなくなったりして、参加された方を不安にさせてしまったかもしれないなと思いました。ただ、市民の方と一緒に町を歩くという体験は、なかなかない貴重な機会で、案内人として参加して良かったなと思いました。初めて入る店や建物も多く、私自身も楽しんでいました。

・地域の方々が、どのような活動を通して、玉島を活性化させているのかがよく分かったので、私たちの住む玉島の魅力を友達に話して広めたいと思いました。私は、教育系の進路を考えているので、分かりやすく、楽しく案内するというコミュニケーション力は、役に立つと思います。子どもたちに「玉島の魅力」を伝えて、次世代につなげられるように頑張りたいです。